

イスラーム・セミナー

下記の要領でイスラーム・セミナーを開催致します。
皆様お誘い合わせの上、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

<テーマ> 中世イスラーム社会の洗練を飲食から考える

14世紀歴史学者イブン・ハルドゥーンは、以下のように文化を定義し、その一要素として調理を挙げている。

「文化とは、周知のような様々な奢侈物の採用であり、奢侈生活の追求であり、調理、裁縫、建築、絨毯、容器製造などは日常生活に要するあらゆる技術を含めて、優美なものを生み出すための技術の錬磨である。〔『歴史序説』第二巻 p. 482〕」

9世紀以降の宮廷社会や都市の富裕層知識層の間においては、教養の一つとして、料理の知識と認識力を持つことが前提となっていた。彼らによって、レシピ集成である料理書や食養生法指南書が、さらには都市の食品業に関する指導マニュアルも編纂された。これらの資料から、都市の人々が求めた飲食の“洗練さ”とは何かを考え、中世イスラーム社会の特質を考察したい。

<講師> 尾崎 貴久子氏(防衛大学校准教授)

<日時> 2015年3月20日(金)
16時00分開始 17時30分 終了予定
(開場 15分前)

<会場> 慶應義塾大学 三田キャンパス
東館 G-SEC Lab
(JR 田町駅、都営地下鉄線三田駅・赤羽橋駅下車 徒歩約8分)

<参加費> 無料

<申込> 不要(直接会場にお越しください)

主催 慶應義塾大学言語文化研究所

<お問い合わせ先>

〒108-8345 港区三田 2-15-45 慶應義塾大学言語文化研究所

電話：03-5427-1595(事務室直通) <http://www.icl.keio.ac.jp>